

とんでもない間違い (ファイルNo.16)

言葉は時代とともに変化します。受け継がれ、少しずつ部分的に変化するものです。変化は仕方がないことなのですが、急激な変化は望ましくありません。言葉は伝わりやすくなるにより大事だからです。今の女子高生や若者が使う言葉は、高齢者に伝わりません。現代は若者を中心に言葉で「いじる」ことや変化させることだけに熱心で、言葉を学ぶことをおろそかにしています。大人から子どもまで、大事なことは本を読み、辞書を引くことです。

「とんでもない」は一語の形容詞なので「とんでも」と「ない」を切り離すことはできません。丁寧に「言うなら」「とんでもないことです」が正解。

◎雨模様

雨模様とは、雨が降り出しそうな空の様子のこと。だから、雨が降っている時に「雨模様」というのは本来の使い方ではありません。雨模様は「雨催い(あまもよい)」が変化した言葉で、雨を催すような空の様子といふことです。

◎汚名返上、名誉挽回

「汚名挽回は、汚名返上と名誉挽回を混同した間違い」という声が大きくなって、汚名挽回という間違いは駆逐されようとしています。何故この間違いだけに世間が過剰に反応したのかは分かりませんが、たしかに、挽回とは失ったものを取りもどすことですから、汚名挽回だと恥の上塗りになってしまいます。ところが、挽回には「払のけ、巻き返す」という意味があるから汚名挽回は間違いではないとの説もあります。間違いとする意見が大勢なので、使わないほうがいいでしょう。

◎「もったいない」を丁寧におうとして「もったいありません」とするの間違い

「もったいない」を丁寧におうとして「もったいありません」とするのは間違い。「やるせない」を「やるせぬ」とするのも間違い。「おぼつかない」を「おぼつきません」とするのも間違い。これらは一語の形容詞なのです。「いってやめなさい」も同

うがいいでしょう。

◎的を射る

的を得るといふ表現は「当を得る」と混同した間違いです。的は得るものではなく射るものなので、正しくは「的を射る」という意味です。ちなみに、弓矢の的の中心の黒い点が「凶星」。

◎耳障りのよい

年配の人の話に対して「耳ざわりのよいお言葉でした」とほめたつもりでいると大変な間違いです。「耳障り」とは、耳に障る、つまり聞いて不快に感じることです。「手触り」という言葉がありますから、そこから「耳触り」ができたのでしょう。国語辞書には「耳触り」を一般化した言葉として認めるものもありますが、当探偵局は認めたくありません。勘違いの言葉としておきます。手で触ることはできても、耳で触ることはできないではありませんか。

◎気骨、姑息、潔い

次からは読者の皆さんが正解を考えてください。辞書を引くことが大事ですから、賢明な皆さんには簡単かもしれません。気骨は「きこつ」または「きぼね」と読みます。「気骨がある」という場合は「きちつでしよう」。「姑息」の本来の意味は卑怯といふことではしようか。潔い(いさぎわるい)は、正しい言葉でしょうか。

ガス代約15%節約!!

高効率ガス給湯器  
リース受付中!

7年リースなら...

標準工事費無料!  
安心な7年メーカー保証付!

風呂釜付給湯エコジョーズ

7年リース	ひと月のリース代金(税込み)
24号	2,160円~
20号	2,070円~

※エコジョーズのリース料金は基本的にガス代金と一緒に支払いになります。



健康ライフ  
100%

意外に大きい肺  
深い呼吸をしよう?

健康のためには、深い呼吸が必要で、時間を決めて深呼吸をするのもいいでしょうが、呼吸についての意識を変えてみることも大事です。身体の外からは見えない「肺」を意識することから始めます。

鼻から大きく息を吸い込むと、肺が膨らむのが分かるはずですが、どうでしょう。肺はかなり大きいことが意識できるのではないのでしょうか。上部は鎖骨あたり、下部は肋骨の下あたりまで、前後も胸から背中近くまであることが分かります。「肺はこんなにも大きい」と意識できるだけでも、呼吸は変わります。浅くせかせかと呼吸している人は、実際よりかなり小さな肺しかイメージできていないのです。呼吸の改善で、健康な身体を維持しましょう。

★マイタケの炒め物★

〈材料〉マイタケ、レンコン、ピーマン  
①材料は細めに切る。  
②材料に鶏がらスープの素を入れ、しょう油を少々入れて炒めるだけ。  
歯ごたえがよく美味しい。  
孫が大好きな一品料理。



「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。

わが家の自慢料理  
茨城県小美玉市 盛くに子様